

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成13年度病虫害発生予察情報について（送付）

このことについて、速報第3号を発表したので送付します。

平成13年度病虫害発生予察速報第3号

- 1 対象作物 ナシ、カキ、カンキツ類
- 2 病虫害名 果樹カメムシ類
- 3 発生予想
 - (1) 本年は、繁殖植物であるヒノキやスギの球果の結実量が多いので、発生量は多くなると思われる。
 - (2) 7月下旬のヒノキ球果の口針鞘数を基にした予測では、8月末までは離脱しないと思われる。
- 4 発生状況
 - (1) 筑紫野市吉木におけるチャバネアオカメムシの4月から7月5半旬までの累計誘殺数は、予察灯では50頭（平成12年：5,697頭、前年：11,769頭）、集合フェロモンでは158頭（前年：11,826頭）と少なかった。
 - (2) 7月5半旬のヒノキ球果のビーティング調査では、主要3種（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）の寄生頭数は、1地点当たり3.1頭（前年9.6頭、平成12年8.1頭）と少なかった。
 - (3) 病虫害防除所が調査した7月下旬のヒノキ球果における1果当たり口針鞘数は、県内13カ所の平均が0.1本と少なかった。
 - (4) 福岡農総試が調査した7月23日のヒノキ球果における1果当たり口針鞘数は、浮羽町、吉井町及び田主丸町の3カ所の平均が0.2本と少なかった。
- 5 防除対策
 - (1) 一般的な園では、8月は果樹カメムシ類を対象とした防除の必要はなく、他害虫類との同時防除で対応できる。
 - (2) 例年、カメムシ類の被害を受ける特殊な園では、園内の発生状況の把握に努め、発生状況に応じて防除を行う。
 - (3) 防除薬剤は、平成13年度果樹病虫害防除基準を参照し、農薬安全使用基準（収穫前使用規制日数等）を遵守する。

第1表 7月下旬のヒノキ球果における口針鞘数の年次比較

調査年		口針鞘数(本)	
		福岡農総試	防除所
平成	8年(1996)	13.6	-
	9年(1997)	4.6	-
	10年(1998)	19.2	4.2(9)
	11年(1999)	5.5	0.9(10)
	12年(2000)	11.3	2.4(7)
	13年(2001)	0.2	0.1(13)

注) 福岡県農業総合試験場の数値は浮羽町、吉井町及び田主丸町の3カ所平均

注) 防除所の数値は、県内7～13カ所平均、- : 未調査
()内は調査地点数